

公益社団法人日本スカッシュ協会平成 26 年度定期社員総会報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

平成 26 年 6 月 29 日、公益社団法人日本スカッシュ協会平成 26 年度定期社員総会が大根田電機株式会社社会議室にて開催されました。
全国の正社員が出席して以下の議案が検討されましたのでご報告致します。

第 1 号議題 平成 25 年度事業報告並びに財務諸表承認

議長より資料を配布し、事務局より説明を行い、監査報告ののち賛成多数で可決

第 2 号議題 基本基金の取り崩し承認

議長より定款別表新旧対照表案を配布し、事務局より説明を行い、議場に諮った所 3 分の 2 以上の賛成で原案どおりこれを可決し、定款の別表を変更した。

第 3 号議題 平成 26 年度・平成 27 年度役員承認

議長より平成 26 年度・平成 27 年度の役員案を配布し、事務局より説明を行い、議場に諮った所全員に過半数を超える賛成がありこれを承認し、可決した。尚、総会後に開催された第 2 回理事会において、現会長は赤字決算の責任をとって辞意を表明したが、慰留を受け、理事会の総意により会長に再任された。また、別紙の通り常務理事を決定した。

※第 1 号議題、第 2 号議題及び第 3 号議題の賛成票数の確認を希望される会員の方は、事務所にて閲覧が可能です。

<報告事項>

- 1、平成 25 年度アクションプラン活動報告
 - 2、(公社)日本スカッシュ協会運営規則の一部変更報告
 - 3、平成 26 年度事業計画並びに予算の報告
 - 4、平成 26 年度正会員、顧問、運営委員、大会・委員会担当者報告
 - 5、2020 年東京オリンピック競技入り及び国立競技場にスカッシュコート設置の見込についての報告
 - 6、第 9 回東アジアスカッシュ選手権大会及び総会報告
 - 7、アジアスカッシュ連盟総会報告
-

平成 25 年度 事業報告

公益社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 26 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 26 年 2 月 8 日～23 日

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。

対象：一般の方、どなたでも。

参加人数：14 カ所、515 名

内容：スカッシュ体験会、団体戦、大会、プチレッスン、ゲーム大会、グループレッスン、ヒッティングパートナー、的当て大会、ジュニア練習会、エンジョイスカッシュ、ジュニア合宿、対抗戦、普及促進イベント、3/4 ラリー等

② 広報活動

イ) 広報機関誌<SQUASH>の発行(年 2 回を予定)

Vol. 73 (夏の号) 7 月 25 日発行

Vol. 74 (冬の号) 平成 26 年 2 月 25 日発行

ロ) 協会ホームページの運営

ハ) 携帯メールによる情報の発信の実施

ニ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

ホ) 記者会見の開催

※8 月 30 日、「小林海咲・松井千夏両選手」記者会見をヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE にて開催。

※9 月 9 日、「2020 年オリンピック競技決定」の記者会見を岸記念体育館にて開催。

ヘ) トップ選手の投稿協力により、マルハニチロのフェイスブックにてスカッシュ競技を紹介

③ 大会等のスポンサー対策及び増進

④ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① アクションプラン活動とアクションプラン募金活動

目的：世界に通じる選手の育成と指導者の養成を目的とする。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動を対象とする。

内容：

イ) ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の選考と強化を図った。

- ロ) 全国地区支部や協会の大会等に於ける募金活動（募金は主に海外遠征等の充実の為に活用）

② ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

- イ) 5月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：5月9日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：3名
- ロ) 5月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：5月23日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：6名
- ハ) 5月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：5月25日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：6名
- ニ) 7月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：7月28日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：5名
- ホ) 9月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：9月12日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：2名
- ヘ) 9月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：9月12日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：2名
- ト) 9月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：9月29日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：4名

- チ) 10 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：10 月 20 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：4 名
- リ) 10 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：10 月 26 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：2 名
- ヌ) 11 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：11 月 9 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数 4 名
- ル) 11 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：11 月 16 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：2 名
- ヲ) 12 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：12 月 22 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：5 名
- ワ) 12 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：12 月 26 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：6 名
- カ) 1 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：平成 26 年 1 月 12 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE
参加人数：3 名
- コ) 1 月度ナショナルトレーニング
主催：(公社) 日本スカッシュ協会
日程：平成 26 年 1 月 25 日
会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数：1名

タ) 3月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成26年3月2日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数：3名

レ) 3月度ナショナルトレーニング

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成26年3月15日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

参加人数：4名

ソ) ピーター・ニコル特別イベント報告

日程：2013年8月1日(木)

会場：ヨコハマSQ-CUBE

イベント内容：日本対アメリカ交流戦

ピーターコーチによるスカッシュクリニック
エキジビションマッチ

ツ) 日韓合同合宿・インターポートマッチ

主催：(公社) 日本スカッシュ協会&韓国スカッシュ協会共催

日程：9月4日～8日

会場：韓国 ソウル

種目：インターポートマッチ、韓国オープン

日本チーム：選手7名、役員1名 計8名

競技結果：日本0-韓国5 敗退

ネ) 西日本地区ジュニア強化合宿実施報告

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：12月27日～28日

会場：(財) 倉敷スポーツ公園マスカットスタジアム内スカッシュコート

参加人数：5名

ナ) 2014年強化合宿 in 保田 報告

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成26年3月31日～4月2日

会場：サンセットブリーズ保田

参加人数：男子10名、女子6名 計16名

③ JSA 公認普及トレーナー (レベルT) 認定講習会と認定試験の開催

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

日程：平成26年2月2日

会場：ルネサンススポーツクラブ天王町

目的：スカッシュの正しい知識と指導法の体得とさらなる技術向上

対象：スカッシュ初心者レベルでのグループ作り等のサポートが可能な者

参加人数：10名、合格10名

成果：基本知識・基本ショットの正しいストローク方法・レフリー・マーカールの基礎知識等の習得、スカッシュの技術向上

⑤ JSA公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認<2級・3級・4級>

主催：(公社)日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部

日程：年10回全国で開催(下表)

目的：レフリー・マーカールの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする。

対象：4級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。

3級—スカッシュの競技歴が1年以上と認められる者等。

2級—スカッシュの競技歴が3年以上と認められる者等。

参加人数：下表を参照

成果：イ)講習会：正しいルール、レフリー・マーカールのあり方、正しいジャッジ(判断)の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロール方法の学習

ロ)筆記試験と実技(DVD)：試験の点数により認定の合否を決定

日程	会場	主催・ 主管支 部	受講 者数	受 験 者数	受験結果				備考
					2級 合格	3級 合格	4級 合格	追試	
4月28日	順天堂大学さくらキャンパス	千葉	24	7		1		6	
5月26日	仙台市民会館	東北	12	10	1	1		7	
6月16日	杉並区阿佐ヶ谷地域区民センター	JSA	11	10		3	1	4	
6月24日	サッポロエスキューブ	北海道		4				1	
7月8日	広島市佐伯区民文化センター	中四国	14	17		6		5	
8月12日	大阪市立大学	関西	19	24		2		12	
9月1日	SMBC コンシューマファイナンス	東北		4					追試のみ
2月24日	西宮市中央公民館	関西	29	17		2		6	
3月24日	西宮市中央公民館	関西	19	21	1	2		9	
3月24日	セントラルウエルネス札幌	北海道	5	7	1			6	
		計	133	121	3	17	1	56	

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会

イ) 第24回全日本アンダー23スカッシュ選手権大会

日程：6月1日、2日

会場：スカッシュスタジアムSQ-CUBE

目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。

対象：23歳未満の男女

参加人数：80名
内容：トーナメント制
競技結果：男子優勝/海道 泰喜 (TECNIFIBER)
女子優勝/中元 和歌 (立命館大学)

ロ) 第27回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会

公認：世界スカッシュ連盟 (WSF・ワールドジュニアサーキット)
アジアスカッシュ連盟 (ASF・アジアジュニアスーパーシリーズ)

日程：8月2日～4日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。

対象：男子アンダー19&17、15、13、11、9の選手

女子アンダー19、17、15&13、11の選手

参加人数：約113名

競技結果：U19&17男子優勝：遠藤共峻 (TECNIFIBER)

U19女子優勝：河野里咲 (洗足学園中学高等学校)

ハ) 第19回マスターズカーニバル

日程：10月12日13日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：マスターズ層の交流・技術向上

対象：男子オーバー30、40&45、50、55、60、65

女子オーバー30&40、45、50&55、60

トリオマッチ

参加予定人数：シングル144名、トリオマッチ93名

競技方式：トーナメント及びリーグ制、トリオマッチ

成果：19回目となり全国からたくさんの方が参加があり交流を図った。

ニ) 文部科学大臣杯争奪第42回全日本スカッシュ選手権大会

<平成25年度スポーツ振興基金・スポーツ振興くじ助成事業>

日程：11月21日～24日

会場：倉敷スポーツ公園 マスカットスタジアム

目的：交流と技術向上及び全日本チャンピオンの決定

対象：選手権/全国選手権上位入賞者及び規定資格保持者、日本国籍を有する者

男女マスターズ/各年齢対象者、日本国籍を有する者

参加人数：223名

競技方式：トーナメント制

競技結果：男子優勝/机 伸之介 (SALMING) V2達成

女子優勝/小林海咲 (Sunset Breeze) 5連覇

ホ) JOC ジュニアオリンピックカップ第18回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会

日程：平成26年3月28日～30日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、

交流と技術向上を目的とする。

対象：男子アンダー19、17、15、13&15、13、11、9&11、9、女子アンダー19、17、15、13&15、9&11、13、11の選手で、日本国籍を有する者

参加人数：158名

競技方式：トーナメント制&リーグ制

競技結果：男子アンダー19 優勝/机 龍之介 (iBEX スポーツ)

女子アンダー19 優勝/渡邊聡美 (SALMING)

※上記2名はJOCジュニアオリンピックカップを授与、有望選手として推薦

② 協会後援大会

イ) PRO SQUASH in JAPAN YOKOHAMA 2013

日程：8月27日～9月1日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

競技結果：男子優勝/ Omar Abdel Meguid (エジプト)

女子優勝/ 小林海咲 (日本チャンピオン)

③ 海外大会日本代表派遣

イ) ミロ・オールスタージュニアスカッシュ選手権

日程：5月28日～6月2日

開催地：マレーシア、ペタリンジャヤ

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

参加：331名

日本チーム：選手11名、役員2名 計7名

主な戦績：男子アンダー19/小林僚生/準優勝

女子アンダー15/渡邊聡美/ベスト8

ロ) 第24回男子世界団体スカッシュ選手権

<JOC 平成25年度NF選手強化事業>

日程：6月9日～6月15日

開催地：フランス

種目：団体戦

参加：男子31カ国

日本チーム：選手4名、役員2名、計6名

戦績：日本22位

ハ) 第20回アジアジュニアスカッシュ選手権 個人戦

<JOC 平成25年度NF選手強化事業>

日程：6月25日～29日

開催地：ヨルダン アンマン

種目：男女個人戦

日本チーム：選手6名、役員2名、計8名

主な戦績：女子アンダー15/渡邊聡美/5位

ニ) 第8回東アジアスカッシュ選手権大会

<JOC 平成25年度NF選手強化事業>

日程：7月12日～14日
開催地：中国 天津
種目：男女別の団体戦
参加：6ヶ国
日本チーム：選手6名、役員1名 計7名
戦績：日本男子3位入賞、女子4位

ホ) 2013 世界ジュニアスカッシュ選手権 (男女個人戦・女子団体戦)

<JOC 平成 25 年度 NF 選手強化事業>

日程：7月16日～21日(個人戦)、7月22日～27日(団体戦)

開催地：ポーランド ヴロツワフ

種目：個人戦・団体戦

日本チーム：選手男子/1名、女子/4名 役員1名 計6名

主な戦績：女子団体戦/9位(日本女子ジュニア過去最高)

(選手：男子/増田成吾、女子/杉本梨沙、渡邊聡美、中平百香、白石彩華)

ヘ) 第9回ワールドゲームズ2013カリ大会

日程：7月25日～8月4日(スカッシュ：8月2日～8月4日)

開催地：コロンビア カリ

日本参加：選手2名、役員1名、計3名

主な戦績：小林僚生(1回戦敗退) 小林海咲(ベスト8)

ト) 2013 香港ジュニアオープン

日程：8月7日～11日

開催地：香港

種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

参加：16カ国、500名

日本チーム：選手10名、役員2名、計12名

主な戦績：男子アンダー19/遠藤共峻/準優勝

男子アンダー17/机龍之介/3位

女子アンダー15/渡邊聡美/優勝

チ) 第2回アジアユースゲームズ

<JOC 平成 25 年度 NF 選手強化事業>

日程：8月16日～24日(スカッシュ：8月17日～23日)

開催地：中国 南京

種目：個人戦・団体戦

日本チーム：選手男子/3名、女子/3名 役員1名 計7名

主な戦績：男子団体戦/5位入賞 女子団体戦/3位

個人戦/ 机龍之介ベスト16、 渡邊聡美ベスト8

リ) 第6回東アジア競技大会

<JOC 派遣事業>

日程：10月5日～10日

開催地：中国 天津

種目：個人戦・団体戦

日本チーム：選手6名、役員2名、計8名

主な戦績：男子団体戦/銀メダル 女子団体戦/4位

個人戦/ 福井祐太 銅メダル、松井千夏 銅メダル

ヌ)「2014 アジア競技大会 仁川」及び「アジア選手権」代表選考会

日程：男子/平成26年1月10日11日、女子/1月17日

開催地：東京アメリカンクラブ

参加：男子/4名、女子/2名

④ 海外派遣承認大会

イ) 2013 Canadian Junior Open

日程：12月7日～10日

参加：1名

ロ) REDtone KL Junior Open Squash Championships2013

日程：12月10日～15日

参加：9名

ハ) Buff Singapore Squash Open 2013

日程：12月18日～22日

参加：2名

ニ) US Junior Open Squash Championships 2013

日程：12月14日～17日

参加：2名

主な戦績：女子アンダー15/ 渡邊聡美 優勝

ホ) British Junior Open 2014

日程：平成26年1月2日～6日

参加：3名

ヘ) Scottish Junior Open 2014

日程：平成26年1月7日～9日

参加：1名

⑤ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：ジャパンオープンスカッシュ選手権大会や東アジアスカッシュ選手権大会等、海外選手と対戦する機会を作る事により日本選手の技術の向上を図る。又、国際大会を開催する事により間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画：これまで大会開催積立を続けてきたが、今年度は決算が赤字の為積立をする事が出来なかった。

2014年の東アジアスカッシュ選手権大会日本開催の準備を進めたが、予算的には厳しい状況である。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動

目的：2014年のアジア競技大会では、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させた。

対象：男女ナショナルチーム。

種目：男女個人戦、団体戦

内容：選手強化の為にトレーニングを集中して行った。

② オリンピック競技大会での正式競技入り実現の為に推進活動

目的：スカッシュの普及発展の為に、WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに開催国スカッシュ協会への2020年オリンピック競技入り要請運動を展開した。

内容：2020年オリンピックの最終3候補競技となったが、12月の国際オリンピック委員会（IOC）の会議にて残念ながら入らなかった。

IOCによりオリンピック競技の見直しが検討されているので、12月の最終決定までに再度東京オリンピックの競技入りに向けて活動を続ける。

③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動

<平成25年スポーツ振興くじ助成>

目的：（公財）日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為に啓蒙活動を積極的に行う。

内容：第42回全日本スカッシュ選手権大会にてドーピング検査を実施
協会機関誌にてドーピングについての記事を掲載し啓蒙活動を行った。

④ 会員募集事業と公認事業制度の運用

目的：個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は（株）アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図った。平成23年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。

世界スカッシュ連盟（WSF）の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図った。

又、公認大会の運用（要項、ドロー、結果の確認及び公認）やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図った。

⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整

目的：海外対策委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行った。

内容：東アジアスカッシュ連盟総会に出席、小澤

⑥ 全日本学生連盟との連携、強化

目的：3年前より学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達した。又、大会等における協力体制を強化した。

⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力した。

計画：改修予定の国立競技場にスカッシュコートを設置して頂けるように引き続き依頼を続けたが、大幅な規模の縮小により厳しい状況である。引き続き周辺施設や他施設への設置依頼を続ける。

⑧ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の普及振興に努力した。

平成 25 年度会員数&公認数

<個人会員>

() は前年

会員種別	人数
正会員	36 名(41 名)
プロ選手会員	43 名 (39 名)
個人選手会員	669 名(647 名)
ジュニア会員	195 名(160 名)
一般会員	122 名(138 名)
個人後援会員	2 名(4 名)
単発会員	58 名(141 名)
学連会員	659 名(615 名)

個人会員総計名 1,784 名(1,785 名)

<団体会員>

() は前年

会員種別	団体数
団体会員	103(108)
準団体会員	30(31)
クラブチーム会員	15(21)
学連校	42(38)

<個人会員と一般会員の支部別内訳> () は前年

支部名	個人選手会員	一般会員
北海道	44 (38)	11(9)
東北	60 (72)	22 (20)
関東	345 (339)	53 (42)
中部	33 (29)	7 (11)
関西	105(109)	15(16)
中国四国	42 (34)	9 (23)
九州	32 (26)	5 (17)

<平成 25 年度公認件数>

コート公認数	1 件
大会公認数(協会主催大会を除く)	48 大会 (オープン 31 U23 1、 マスターズ 1、地区支部クローズ 6、 県支部クローズ 6、学連 3)
ボール公認数	1 件
コーチ公認更新数	12 件
レフリー公認更新数	75 件

(2014.3.31.)

貸借対照表

平成26年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金	559,030	2,088,360	-1,529,330
金 卸	511,365	1,225,210	-713,845
前 払	251,121	1,103,621	-852,500
未 収	1,452,397	1,169,698	282,699
流動資産合計	2,773,913	5,586,889	-2,812,976
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
定期預金	50,454,837	50,454,837	0
基本財産合計	50,454,837	50,454,837	0
(2) 特定資産			
公益事業基金(大会開催)引当預金	5,900,000	5,900,000	0
トレセン建設引当預金	4,300,000	4,300,000	0
特定資産合計	10,200,000	10,200,000	0
(3) その他固定資産			
保証金	200,000	200,000	0
その他固定資産合計	200,000	200,000	0
固定資産合計	60,854,837	60,854,837	0
資産合計	63,628,750	66,441,726	-2,812,976
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	1,237,918	1,022,629	215,289
前受	3,723,025	2,235,775	1,487,250
流動負債合計	4,960,943	3,258,404	1,702,539
負債合計	4,960,943	3,258,404	1,702,539
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産			
(うち基本財産への充当額)	58,667,807	63,183,322	-4,515,515
(うち特定資産への充当額)	50,454,837	50,454,837	0
(うち特定資産への充当額)	10,200,000	10,200,000	0
正味財産合計	58,667,807	63,183,322	-4,515,515
負債及び正味財産合計	63,628,750	66,441,726	-2,812,976

正味財産増減計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	当年度	前年度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	12,674	13,112	-438
基本財産受取利息	12,674	13,112	-438
受取会費	13,265,392	13,326,939	-61,547
正会員受取会費	378,000	430,500	-52,500
賛助会員受取会費	7,101,292	7,167,009	-65,717
賛助会員受取会費	2,910,000	2,984,290	-74,290
加算盟認	640,000	640,000	0
事業収益	2,236,100	2,105,140	130,960
参加費	17,556,458	15,878,136	1,678,322
広告費	8,170,426	6,230,823	1,939,603
委託費	3,194,000	2,796,500	397,500
雑収入	2,716,017	1,827,271	888,746
受取補助金等	3,222,000	4,518,000	-1,296,000
受取補助金	254,015	505,542	-251,527
受取補助金	4,323,000	5,293,000	-970,000
受取補助金	1,153,000	2,253,000	-1,100,000
受取補助金	3,170,000	3,040,000	130,000
受取補助金	142,095	104,830	37,265
受取補助金	142,095	104,830	37,265
受取補助金	256,922	507,271	-250,349
受取補助金	6,846	7,271	-425
受取補助金	250,076	500,000	-249,924
経常収益計	35,556,541	35,123,288	433,253
(2) 経常費用			
事業費	28,392,417	24,974,122	3,418,295
コピー	1,359,850	1,951,045	-591,195
参加費	2,384,105	2,498,329	-114,224
参加費	1,376,122	1,164,566	211,556
参加費	426,939	282,559	144,380
参加費	222,900	253,856	-30,956
参加費	1,213,190	909,749	303,441
参加費	2,184,271	937,895	1,246,376
参加費	654,972	619,436	35,536
参加費	1,554,331	1,054,891	499,440
参加費	6,080,444	5,223,948	856,496
参加費	403,890	1,161,447	-757,557
参加費	110,150	475,150	-365,000
参加費	2,645,974	1,854,061	791,913
参加費	623,810	927	622,883
参加費	140,086	673,322	-533,236
参加費	61,901	103,958	-42,057
参加費	3,560,716	4,189,865	-629,149
参加費	1,613,336	135,099	1,478,237
参加費	247,744	122,724	125,020
参加費	824,000	904,500	-80,500
参加費	703,686	456,795	246,891
参加費	11,679,639	14,250,780	-2,571,141
参加費	6,199,700	8,438,694	-2,238,994
参加費	361,510	347,140	14,370
参加費	286,436	295,692	-9,256
参加費	30,100	21,000	9,100
参加費	359,880	259,165	100,715
参加費	200,045	65,235	134,810
参加費	226,999	215,592	11,407
参加費	1,320,000	1,464,750	-144,750
参加費	1,477,198	1,565,652	-88,454
参加費	443,292	399,272	44,020
参加費	150,000	150,000	0
参加費	253,568	666,510	-412,942
参加費	32,940	72,500	-39,560
参加費	337,971	289,578	48,393
経常費用計	40,072,056	39,224,902	847,154
評価損益等調整前当期経常増減額	-4,515,515	-4,101,614	-413,901
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	-4,515,515	-4,101,614	-413,901
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-4,515,515	-4,101,614	-413,901
一般正味財産期首残高	63,183,322	67,284,936	-4,101,614
一般正味財産期末残高	58,667,807	63,183,322	-4,515,515
II 指定正味財産増減の部			
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	58,667,807	63,183,322	-4,515,515

正味財産増減計算書内訳表

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業	収益事業	法人会計	合 計
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	12,674	12,674
基本財産受取利息	0	0	12,674	12,674
受取会費	6,632,696	0	6,632,696	13,265,392
正会員受取会費	189,000	0	189,000	378,000
賛助会員個人受取会費	3,550,646	0	3,550,646	7,101,292
賛助会費	1,455,000	0	1,455,000	2,910,000
加盟料	320,000	0	320,000	640,000
公認事業収益	1,118,050	0	1,118,050	2,236,100
参加費	17,556,458	0	0	17,556,458
参加費	8,170,426	0	0	8,170,426
参加費	3,194,000	0	0	3,194,000
参加費	2,716,017	0	0	2,716,017
委託助成収入	3,222,000	0	0	3,222,000
雑収入	254,015	0	0	254,015
受取補助金等	4,323,000	0	0	4,323,000
民間補助金収入	1,153,000	0	0	1,153,000
受取補助金	3,170,000	0	0	3,170,000
受取寄付金	142,095	0	0	142,095
雑収入	142,095	0	0	142,095
受取利息	0	0	256,922	256,922
その他	0	0	6,846	6,846
経常収益計	28,654,249	0	6,902,292	35,556,541
(2) 経常費用				
事業費	28,392,417	0	0	28,392,417
コピー機	1,359,850	0	0	1,359,850
パソコン	2,384,105	0	0	2,384,105
参加費	1,376,122	0	0	1,376,122
参加費	426,939	0	0	426,939
参加費	222,900	0	0	222,900
参加費	1,213,190	0	0	1,213,190
参加費	2,184,271	0	0	2,184,271
参加費	654,972	0	0	654,972
参加費	1,554,331	0	0	1,554,331
参加費	6,080,444	0	0	6,080,444
参加費	403,890	0	0	403,890
参加費	110,150	0	0	110,150
参加費	2,645,974	0	0	2,645,974
参加費	623,810	0	0	623,810
参加費	140,086	0	0	140,086
参加費	61,901	0	0	61,901
参加費	3,560,716	0	0	3,560,716
参加費	1,613,336	0	0	1,613,336
参加費	247,744	0	0	247,744
参加費	824,000	0	0	824,000
参加費	703,686	0	0	703,686
参加費	8,360,464	0	3,319,175	11,679,639
参加費	4,959,760	0	1,239,940	6,199,700
参加費	289,208	0	72,302	361,510
参加費	229,149	0	57,287	286,436
参加費	15,050	0	15,050	30,100
参加費	287,904	0	71,976	359,880
参加費	160,036	0	40,009	200,045
参加費	181,599	0	45,400	226,999
参加費	1,056,000	0	264,000	1,320,000
参加費	1,181,758	0	295,440	1,477,198
参加費	0	0	443,292	443,292
参加費	0	0	150,000	150,000
参加費	0	0	253,568	253,568
参加費	0	0	32,940	32,940
参加費	0	0	337,971	337,971
経常費用計	36,752,881	0	3,319,175	40,072,056
評価損益等調整前当期経常増減額	-8,098,632	0	3,583,117	-4,515,515
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	-8,098,632	0	3,583,117	-4,515,515
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-8,098,632	0	3,583,117	-4,515,515
一般正味財産期首残高	-16,229,222	0	79,412,544	63,183,322
一般正味財産期末残高	-24,327,854	0	82,995,661	58,667,807
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	-24,327,854	0	82,995,661	58,667,807

附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

「財務諸表に対する注記」の「2.基本財産及び特定資産の増減額及び残高」に記載のとおりである。

2. 引当金の明細

(単位:円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		当期末残高
			目的使用	その他	
退職給付引当金	-	-	-	-	-

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法 ----- 移動平均法による原価法
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法 ----- 先入先出法による原価法
- (3) 引当金の計上基準
退職給付引当金 ----- 職員退職金の支払に備えて職員退職給与規定に基づく
期末における自己都合要支給額を計上している。
- (4) 消費税等の会計処理 ----- 税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
定期預金	50,454,837	0	0	50,454,837
小計	50,454,837	0	0	50,454,837
特定資産				
大会開催引当預金	5,900,000	0	0	5,900,000
トレセン建設引当預金	4,300,000	0	0	4,300,000
小計	10,200,000	0	0	10,200,000
合 計	60,654,837	0	0	60,654,837

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

(単位:円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産 からの充当額)	(うち一般正味財産 からの充当額)	(うち負債に 対応する額)
基本財産				
定期預金	50,454,837	(0)	(50,454,837)	(0)
小計	50,454,837	(0)	(50,454,837)	(0)
特定資産				
大会開催引当預金	5,900,000	(0)	(5,900,000)	(0)
トレセン建設引当預金	4,300,000	(0)	(4,300,000)	(0)
小計	10,200,000	(0)	(10,200,000)	(0)
合 計	60,654,837	(0)	(60,654,837)	(0)

4. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

(単位:円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
委託金						
選手強化NF事業補助金	日本オリンピック委員会	0	3,222,000	3,222,000	0	—
小計		0	3,222,000	3,222,000	0	
助成金						
スポーツ振興基金助成金	日本スポーツ振興センター	0	2,350,000	2,350,000	0	—
スポーツ振興くじ助成金	日本スポーツ振興センター	0	820,000	820,000	0	—
小計		0	3,170,000	3,170,000	0	
交付金						
選手強化交付金	日本オリンピック委員会	0	1,153,000	1,153,000	0	—
小計		0	1,153,000	1,153,000	0	
合計		0	7,545,000	7,545,000	0	

財産目録

平成26年 3月31日現在

(単位:円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	金額	
(流動資産)				
現金 預金	手元保管	運転資金として	108,416	
	普通預金		27,922	
	三菱東京UFJ銀行 神田支店	運転資金として	4,354	
	三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店	運転資金として	2,497	
	三井住友銀行 神田支店	運転資金として	2,659	
	みずほ銀行 神田支店	運転資金として	1,179	
	りそな銀行 神田支店	運転資金として	9,698	
	朝日信用金庫 湯島支店	運転資金として	6,472	
	ゆうちょ銀行 神田局	運転資金として	1,063	
	定期預金		422,692	
	三菱東京UFJ銀行 神田駅前支店	運転資金として	100,504	
	三井住友銀行 神田支店	運転資金として	100,504	
	みずほ銀行 神田支店	運転資金として	100,504	
	りそな銀行 神田支店	運転資金として	94,717	
	シティーバンク 大手町支店	運転資金として	21,192	
	三菱東京UFJ銀行 神田支店	運転資金として	5,271	
	棚卸資産	手元保管	公益目的事業分(本・ビデオ) 法人会計分(切手)として	511,365
	前払金			251,121
	翌年度事業分	参加費等	公益目的事業分として	251,121
	未収金			1,452,397
その他	JOC補助金・会費等	公益目的事業分として	1,452,397	
流動資産合計			2,773,913	
(固定資産)				
基本財産				
定期預金	三菱東京UFJ銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産 運用益を管理費の財源に充当	50,454,837	
	三菱UFJ銀行 神田駅前支店	公益目的事業の不可欠特定財産 運用益を管理費の財源に充当	5,102,860	
	三菱UFJ銀行 神田駅前支店	公益目的事業の不可欠特定財産 運用益を管理費の財源に充当	9,006,301	
	三井住友銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産 運用益を管理費に財源に充当	9,006,301	
	みずほ銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産 運用益を管理費の財源に充当	9,006,301	
	りそな銀行 神田支店	公益目的事業の不可欠特定財産 運用益を管理費の財源に充当	8,309,208	
	シティーバンク 大手町支店	公益目的事業の不可欠特定財産 運用益を管理費の財源に充当	2,020,024	
	朝日信用金庫 湯島支店	公益目的事業の不可欠特定財産 運用益を管理費の財源に充当	8,003,842	
	特定資産			
	公益事業基金(大会 開催)引当預金		公益事業基金(大会開催)	5,900,000
		朝日信用金庫 湯島支店	特定費用準備資金として	1,750,000
		ゆうちょ銀行 神田局	特定費用準備資金として	100,000
		りそな銀行 神田支店	特定費用準備資金として	1,950,000
		みずほ銀行 神田支店	特定費用準備資金として	2,050,000
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	特定費用準備資金として	50,000
	トレセン建設 引当預金		トレセン建設	4,300,000
		三菱東京UFJ銀行 神田支店	公益目的事業分として	2,500,000
		朝日信用金庫 湯島支店	公益目的事業分として	1,800,000

その他固定資産	保証金	事務所保証金	公益目的保有財産として(20%) 公益目的事業の不可欠特定財産	200,000
固定資産合計				60,854,837
資産合計				63,628,750
(流動負債)	未払金	3月分給料 大会経費 その他	法人会計・管理費分として 公益目的事業分として 法人会計・管理費分として	1,237,918 417,134 553,389 267,395
	前受金	次年度会費	公益目的事業分として	3,723,025 3,639,025
	その他			84,000
流動負債合計				4,960,943
負債合計				4,960,943
正味財産				58,667,807

収支計算書

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	決算額	差 異
I 事業活動収支の部			
1. 事業活動収入			
基本財産運用収入	160,000	12,674	147,326
基本財産利息収入	160,000	12,674	147,326
会費収入	16,576,600	13,265,392	3,311,208
正職員会費収入	430,500	378,000	52,500
賛助会員個人会費収入	9,782,850	7,101,292	2,681,558
賛助会員団体費収入	3,539,000	2,910,000	629,000
公認加盟料	642,500	640,000	2,500
事業収入	2,181,750	2,236,100	-54,350
参加費収入	19,200,309	17,556,458	1,643,851
広聴費収入	8,419,800	8,170,426	249,374
委託助成収入	3,821,000	3,194,000	627,000
補助金収入	1,979,509	2,716,017	-736,508
補助金収入	3,580,000	3,222,000	358,000
補助金収入	1,400,000	254,015	1,145,985
補助金収入	6,943,322	4,323,000	2,620,322
補助金収入	1,500,000	1,153,000	347,000
補助金収入	5,443,322	3,170,000	2,273,322
雑収入	500,000	142,095	357,905
雑収入	500,000	142,095	357,905
雑収入	5,000	256,922	-251,922
雑収入	5,000	6,846	-1,846
雑収入	0	250,076	-250,076
事業活動収入計	43,385,231	35,556,541	7,828,690
2. 事業活動支出			
事業費	28,826,731	27,680,522	1,146,209
コバート	1,975,440	1,359,850	615,590
参加費	2,933,420	2,384,105	549,315
参加費	1,178,442	1,376,122	-197,680
参加費	539,165	426,939	112,226
参加費	63,800	222,900	-159,100
参加費	1,795,800	1,213,190	582,610
参加費	1,111,850	2,184,271	-1,072,421
参加費	908,740	638,258	270,482
参加費	1,336,237	1,554,331	-218,094
参加費	5,587,460	6,080,444	-492,984
参加費	1,862,000	403,890	1,458,110
参加費	0	110,150	-110,150
参加費	2,014,050	2,645,974	-631,924
参加費	20,000	623,810	-603,810
参加費	0	140,086	-140,086
参加費	7,907	61,901	-53,994
参加費	525,572	3,560,716	-3,035,144
参加費	0	1,613,336	-1,613,336
参加費	2,466,848	247,744	2,219,104
参加費	2,000,000	824,000	1,176,000
参加費	2,500,000	8,505	2,491,495
参加費	14,258,500	11,677,689	2,580,811
参加費	7,750,000	6,199,700	1,550,300
参加費	500,000	361,510	138,490
参加費	500,000	284,486	215,514
参加費	50,000	30,100	19,900
参加費	550,000	359,880	190,120
参加費	100,000	200,045	-100,045
参加費	200,000	226,999	-26,999
参加費	1,430,000	1,320,000	110,000
参加費	1,500,000	1,477,198	22,802
参加費	73,500	0	73,500
参加費	455,000	443,292	11,708
参加費	200,000	150,000	50,000
参加費	350,000	253,568	96,432
参加費	200,000	32,940	167,060
参加費	400,000	337,971	62,029
事業活動支出計	43,085,231	39,358,211	3,727,020
事業活動収支差額	300,000	-3,801,670	4,101,670
II 投資活動収支の部			
1. 投資活動収入			
投資活動収入計	0	0	0
2. 投資活動支出			
特定預金支出	300,000	0	300,000
大会開催引当預金支出	200,000	0	200,000
トレンセン建設引当預金支出	100,000	0	100,000
投資活動支出計	300,000	0	300,000
投資活動収支差額	-300,000	0	-300,000
III 財務活動収支の部			
1. 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2. 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	0	-3,801,670	3,801,670
前期繰越収支差額	0	1,103,275	-1,103,275
次期繰越収支差額	0	-2,698,395	2,698,395

収支計算書内訳表

平成25年 4月 1日から平成26年 3月31日まで

(単位：円)

科 目				合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	0	0	12,674	12,674
基本財産利息収入	0	0	12,674	12,674
会費収入	6,632,696	0	6,632,696	13,265,392
正職員会費収入	189,000	0	189,000	378,000
賛助会員個人会費収入	3,550,646	0	3,550,646	7,101,292
賛助会員団体費収入	1,455,000	0	1,455,000	2,910,000
加盟料	320,000	0	320,000	640,000
事業収入	1,118,050	0	1,118,050	2,236,100
参加費	17,556,458	0	0	17,556,458
広告費	8,170,426	0	0	8,170,426
その他収入	3,194,000	0	0	3,194,000
委託の収入	2,716,017	0	0	2,716,017
雑収入	3,222,000	0	0	3,222,000
補助金等収入	254,015	0	0	254,015
補助金収入	4,323,000	0	0	4,323,000
民間補助金収入	1,153,000	0	0	1,153,000
国庫補助金収入	3,170,000	0	0	3,170,000
寄付金収入	142,095	0	0	142,095
募金収入	142,095	0	0	142,095
雑受取利息	0	0	256,922	256,922
その他	0	0	6,846	6,846
の	0	0	250,076	250,076
事業活動収入計	28,654,249	0	6,902,292	35,556,541
2. 事業活動支出				
事業費	27,680,522	0	0	27,680,522
コントフ	1,359,850	0	0	1,359,850
パート	2,384,105	0	0	2,384,105
参加費	1,376,122	0	0	1,376,122
トロフイ	426,939	0	0	426,939
保安費	222,900	0	0	222,900
交通費	1,213,190	0	0	1,213,190
宿泊費	2,184,271	0	0	2,184,271
郵便費	638,258	0	0	638,258
雑費	1,554,331	0	0	1,554,331
渡航費	6,080,444	0	0	6,080,444
外国滞	403,890	0	0	403,890
国内旅	110,150	0	0	110,150
国謝金	2,645,974	0	0	2,645,974
借料	623,810	0	0	623,810
消耗品	140,086	0	0	140,086
通信運	61,901	0	0	61,901
雑役務	3,560,716	0	0	3,560,716
対象外	1,613,336	0	0	1,613,336
その他	247,744	0	0	247,744
給付支	824,000	0	0	824,000
雑管	8,505	0	0	8,505
給理費	8,358,904	0	3,318,785	11,677,689
給通	4,959,760	0	1,239,940	6,199,700
旅費	289,208	0	72,302	361,510
通信	227,589	0	56,897	284,486
会議	15,050	0	15,050	30,100
消耗什	287,904	0	71,976	359,880
印刷	160,036	0	40,009	200,045
光熱	181,599	0	45,400	226,999
賃借	1,056,000	0	264,000	1,320,000
社負	1,181,758	0	295,440	1,477,198
公認	0	0	443,292	443,292
公益	0	0	150,000	150,000
登記	0	0	253,568	253,568
雑	0	0	32,940	32,940
事業活動支出計	36,039,426	0	3,318,785	39,358,211
事業活動収支差額	-7,385,177	0	3,583,507	-3,801,670
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
投資活動支出計	0	0	0	0
投資活動収支差額	0	0	0	0
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	-7,385,177	0	3,583,507	-3,801,670
前期繰越収支差額	-21,114,888	0	22,218,163	1,103,275
次期繰越収支差額	-28,500,065	0	25,801,670	-2,698,395

収支計算書に対する注記

1. 資金の範囲

資金の範囲 ----- 現金預金、未収金、未払金、前払金、前受金、仮払金、仮受金、預り金
なお、前期末及び当期末残高は、下記2に記載するとおりである。

2. 次期繰越収支差額に含まれる資産及び負債の内容

(単位:円)

科 目	前期末残高	当期末残高
現金預金	2,088,360	559,030
前払金	1,103,621	251,121
未収金	1,169,698	1,452,397
合 計(1)	4,361,679	2,262,548
未払金	1,022,629	1,237,918
前受金	2,235,775	3,723,025
合 計(2)	3,258,404	4,960,943
次期繰越収支差額(1)－(2)	1,103,275	△ 2,698,395

独立監査人の監査報告書

平成26年5月23日

公益財団法人日本スカッシュ協会
会長 笠原 一也 殿

十川公認会計士事務所
公認会計士

十川 稔 

<財務諸表監査>

私は、貴財団法人の委嘱に基づき、公益財団法人日本スカッシュ協会の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの平成25年度の貸借対照表及び正味財産増減計算書並びに附属明細書並びに財務諸表に対する注記について監査し、併せて、正味財産増減計算書内訳表（以下「財務諸表等」という。）について監査を行った。

財務諸表等に対する理事者の責任

理事者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して財務諸表等を作成し適正に表示することにある。これは、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない財務諸表等を作成し適正に表示するために理事者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

私の責任は、私が実施した監査に基づいて、独立の立場から財務諸表等に対する意見を表明することにある。私は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して監査を行った。監査の基準は、私に財務諸表等に重要な虚偽の表示がないかどうかについて合理的な保証を得るために、監査計画を策定し、これに基づき監査することを求めている。

監査においては、財務諸表等の金額及び開示について監査証拠を入手するための手続が実施される。監査手続は、私の判断により、不正又は誤謬による財務諸表等の重要な虚偽表示のリスクの評価に基づいて選択及び適用される。財務諸表監査の目的は、内部統制の有効性について意見表明するためのものではないが、私は、リスク評価の実施に際して、状況に応じた適切な監査手続を立案するために、財務諸表等の作成と適正な表示に関連する内部統制を検討する。また、監査には、理事者が採用した会計方針及びその適用方法並びに理事者によって行われた見積りの評価も含め全体としての財務諸表等の表示を検討することが含まれる。

私は、意見表明の基礎となる十分かつ適切な監査証拠を入手したと判断している。

監査意見

私は、上記の財務諸表等が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠して、当該財務諸表等に係る期間の財産、正味財産増減の状況をすべての重要な点において適正に表示しているものと認める。

<財産目録に対する意見>

私は、貴財団法人の委嘱に基づき、公益財団法人日本スカッシュ協会の平成26年3月31日現在の平成25年度の財産目録（「貸借対照表科目」、「使用目的等」及び「金額」の欄に限る）について監査を行った。

財産目録に対する理事者の責任

理事者の責任は、財産目録を、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠するとともに、公益認定関係書類と整合して作成することにある。

監査人の責任

私の責任は、財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているかについて意見を表明することにある。

財産目録に対する監査意見

私は、上記の財産目録が、我が国において一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準に準拠しており、公益認定関係書類と整合して作成されているものと認める。

利害関係

公益財団法人日本スカッシュ協会と私との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。


以 上

監査報告書

平成 26 年 5 月 23 日

公益社団法人日本スカッシュ協会
会長 笠原 一也 殿

公益社団法人 日本スカッシュ協会

監事 友清 敏和 

監事 山岸 和彦 

私たち監事は、公益社団法人日本スカッシュ協会の平成 25 年 4 月 1 日から平成 26 年 3 月 31 日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その結果を次のとおり報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

- (1) 理事の職務並びに事業報告及びその附属明細書の監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧その他必要と思われる監査手続きを実施して、理事の職務の遂行並びに事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討しました。
- (2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査については、独立監査人から監査実施状況及び結果について報告を受け、計算書類及びその附属明細書並びに財産目録を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書に関する監査結果
事業報告及び附属明細書は、法令又は定款に従い当法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関する監査結果
当法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録に関する監査結果
計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は当法人の財産及び損益の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。また、独立監査人の監査方法及び結果は、相当であると認めます。

以上

定款 別表の一部変更 (案)

<変更前>

別表 基本財産 (第36条関係)

財産種別	場所・物量等
定期預金 50,454,837	三菱東京UFJ銀行神田駅前支店 9,006,301
	三井住友銀行神田支店 9,006,301
	みずほ銀行神田支店 9,006,301
	りそな銀行神田支店 8,309,208
	シティーバンク大手町支店 2,020,024
	朝日信用金庫湯島支店 8,003,842
	三菱東京UFJ銀行神田支店 5,102,860

<変更後>

別表 基本財産 (第36条関係)

財産種別	場所・物量等
定期預金 33,444,694	三菱東京UFJ銀行神田駅前支店 9,006,301
	みずほ銀行神田支店 9,006,301
	りそな銀行神田支店 8,309,208
	シティーバンク大手町支店 2,020,024
	三菱東京UFJ銀行神田支店 5,102,860

平成 25 年度アクションプラン活動等報告

公益社団法人日本スカッシュ協会 選手強化委員会

公益社団法人日本スカッシュ協会のアクションプラン活動等にご支援ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。ここに、平成 25 年度の主な関連活動内容をご報告致します。

平成 26 年度からは新たに「スカッシュ応援募金」としてスタート致します。アジア競技大会で活躍した選手への報奨金や、将来のオリンピック競技入りを見据えた選手の育成強化やスカッシュの普及事業に活用させていただきます。今後共より一層のご支援ご協力を賜りますように切にお願い申し上げます。

項目	収入		支出	備考
	(寄付補助金)	(参加費等)		
アクションプラン募金	142,095	0	0	
JOC強化交付金	953,000	0	0	
JOC委託事業 ※表 1	3,222,000	0	6,644,017	男子世界団体・アジアジュニア・東アジア選手権・世界ジュニア・アジアユースゲームズ
選手強化委員会(シニア)	0	302,050	1,789,024	日韓合宿・ワールドゲームズ・東アジア競技大会・他
選手強化委員会(ジュニア)	0	2,606,221	4,080,753	マレーシア遠征・香港ジュニア・ジュニア合宿・他
計	4,317,095	2,908,271	12,513,794	
総計		総収入	総支出	差引差額
		7,225,366	12,513,794	△5,288,428

* 委託事業対象外経費一部含む

* 表1 JOC委託事業

(対象経費の2/3がJOC補助、残1/3と対象外経費その他がJSA負担。但しJOC補助金上限あり)

支出

項目	渡航費	滞在費	交通費	謝金	借損料	通信費	保険代・雑役務	対象外*	計
男子世界選手権団体	1,053,040	57,915	22,940	200,000	0	0	12,180 472,304	17,338	1,835,717
アジアジュニア個人	694,280	0	22,410	140,000	0	5,737	23,280 276,872	72,000	1,234,579
東アジア選手権	346,500	0	23,790	50,000	927	590	17,080 1,200	0	439,160
世界ジュニア	530,940	0	14,700	150,000	0	790	22,670 543,811	8,000	1,270,911
アジアユースゲームズ	1,160,600	345,975	22,910	110,000	140,000	1,190	61,460 1,515	20,000	1,813,650
計	3,785,360	403,890	106,750	650,000	140,927	8,307	1,432,372	117,330	6,644,017

<内、JOC委託金 3,222,000円>

◆ その他、選手強化委員会海外遠征等（JSA負担）

項目	収入	支出
マレーシアジュニア遠征	1,060,710	1,617,045
ワールドゲームズ	0	608,400
香港ジュニアオープン	869,640	1,399,081
東アジア競技大会	0	319,738
選手強化(シニア)	302,050	860,886
選手強化(ジュニア)	675,871	1,064,627
計	2,908,271	5,869,777

平成 26 年度 事業計画

公益社団法人日本スカッシュ協会

(1) スカッシュ競技の普及に関する事業

① スカッシュデー・スカッシュウィークの実施

主催：(公社) 日本スカッシュ協会

主管：全国のスポーツクラブ及び地区支部等

日程：<スカッシュデー>平成 27 年 2 月 11 日

<スカッシュウィーク>平成 27 年 2 月 7 日～22 日 (予定)

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート等

目的：スカッシュの楽しさをより多くの方々に体験して頂きスカッシュの一層の普及を目的とする。

対象：一般の方、どなたでも。

参加予定人数：約 2,000 名

内容：スカッシュ体験会、試打会、ヒッティングパートナー、コーチング、レンタル無料デー、スカッシュ大会、3/4 ゲーム大会等

② 広報活動

イ) 広報機関誌<SQUASH>の発行 (年 2 回を予定)

Vol. 75 (夏の号) 7 月発行予定

Vol. 76 (冬の号) 平成 27 年 2 月発行予定

ロ) 協会ホームページの運営

ハ) 体育協会記者クラブ等マスコミへのプレスリリース等情報発信

③ 大会等のスポンサー対策及び増進

④ 環境対策委員会にて JSA エコプロジェクトを推進する

(2) スカッシュ競技の競技力の向上に関する事業

① スカッシュの普及と競技力向上に関する事業と「スカッシュ応援募金」活動

目的：アジア競技大会でメダルが取れる選手の育成強化と普及を目的とする。

対象：選手強化活動とコーチ養成の活動及び新たなジュニア選手の発掘育成を対象とする。

内容：

イ) ナショナル強化プロジェクトチームによる JSA 強化指定選手の競技力向上と、普及活動による選手発掘育成強化

ロ) 協会 HP や全国地区支部、協会の大会等に於けるスカッシュ応援募金活動

② JSA 公認レベル T (普及トレーナー) 及びレベル 1 (コーチ) 認定講習会と認定試験の開催・公認とワークショップの開催

主催：(公社) 日本スカッシュ協会、団体会員及び地区都道府県支部

日程：年 1～3 回開催予定

会場：未定

目的：スカッシュの正しい知識と指導法を体得し、スカッシュの一層の技術向上を図る。

対象：レベルT—スカッシュの初心者レベルでのグループ作り等のサポートが出来る方

レベル1—一般的なクラブプレイヤーをコーチングする指導者。

参加予定人数：各回10名前後を予定

内容：レベルT---基本知識と基本ショットの正しいストローク方法、レフリー・マーカールの基本知識等。

レベル1---全ての基本ショットの正しいストローク方法やフィーディング（球出し）方法、マンツーマン&グループコーチング、試合開催の組織作り、基本戦術とルール、レフリー・マーカールの知識等

③ JS A 公認審判講習会と認定試験の開催・支援と公認<2級・3級・4級>

主催：（公社）日本スカッシュ協会及び全国の地区都道府県支部

日程：全国にて年10回程度開催予定

会場：全国のスポーツクラブのスカッシュコート又は地域公共施設

目的：レフリー・マーカールの正しい知識を習得し、スカッシュ審判の一層の技術向上を目的とする。

対象：4級—一般、ジュニア等のスカッシュ経験が浅い者等。

3級—スカッシュの競技歴が1年以上と認められる者等。

2級—スカッシュの競技歴が3年以上と認められる者等。

参加予定人数：各回10~30名前後を予定

内容：講習会にて、正しいルールやレフリー・マーカールのあり方、正しいジャッジ（判断）の進め方、トラブルの対処方法、観客や試合のコントロールについて学び、筆記試験と実技（DVD）試験の点数により認定の合否が決められる。

④ ナショナルスカッシュ強化練習会及び合宿の開催

主催：（公社）日本スカッシュ協会

日程：<ナショナルトレーニング>月3回程度年間を通して実施予定

<特別ジュニア合宿>平成27年3月に予定

<西日本ジュニア強化合宿>8月頃に予定

会場：ヨコハマ SQ-CUBE、マスカット、等

目的：アジア競技大会・東アジア競技大会等においてメダルを獲得する事を目標に、技術力の向上とフィジカルの強化等を目的とする。

対象：ナショナルチームの選手、選手強化対象選手、ジュニア選手に一般の選手もプラスした幅広いプレイヤーを対象とした中から卓越した才能を発掘し育成強化を目指す。

参加予定人数：各回6~20名前後を予定

内容：フィジカルチェック、コンディショニングゲーム、フィジカルトレーニング、基本ショット及び戦術練習、ゲーム練習、等。

(3) スカッシュ競技の競技大会に関する事業

① 協会主催の競技大会 ※日程、会場等は予定

イ) 第9回東アジアスカッシュ選手権大会<日本開催>

<平成 26 年度スポーツ振興基金助成予定>

日程：5 月 29 日～6 月 1 日

会場：スパ白金

目的：東アジア 6 カ国（香港、中国、台湾、韓国、マカオ、日本）の国際交流と技術向上

対象：東アジア 6 カ国のトップ選手

参加予定人数：約 42 名

内容：男女別国別団体戦

ロ) 第 25 回全日本アンダー23 スカッシュ選手権大会

日程：6 月 7 日・8 日

会場：さいたまスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：日本のトッププレイヤーを目指す若いプレイヤーの育成強化を目的とする。

対象：23 歳未満の男女

参加予定人数：約 100 名

内容：トーナメント制

ハ) 第 28 回ジャパンジュニアオープンスカッシュ選手権大会

<ワールドジュニアサーキット(WSF) >

<アジアジュニアスーパーシリーズ(ASF)>

日程：8 月 7 日～9 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：海外のジュニア選手の参加により、日本の選手との交流と技術向上を目的とする。

対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手

参加予定人数：約 100 名

内容：トーナメント制

ニ) 第 20 回マスターズカーニバル

日程：10 月 11 日・12 日

会場：ヨコハマスカッシュスタジアム SQ-CUBE

目的：マスターズの年代のスカッシュ愛好家による親睦を図り、スカッシュの試合を通じた楽しい仲間作りを目的とする。

対象：男女オーバー30、40、50、60（初心者～ベテラン）

参加予定人数：約 200 名

内容：トーナメント及びリーグ制

ホ) 文部科学大臣杯争奪第 43 回全日本スカッシュ選手権大会（冠は予定）

<平成 26 年度スポーツ振興基金助成予定>

日程：11 月 21 日～24 日

会場：未定

目的：全国で開催された公認大会において上位の成績を収めた選手達により、日本チャンピオンの座を競う国内最高峰の大会。日本全国のトップ選手の交流と一層の技術向上を目的とする。

対象：全国の公認大会における上位入賞者で、日本国籍を有する者、及び男女

マスターズ
参加予定人数：約 200 名
内容：トーナメント制

- へ) JOC ジュニアオリンピックカップ第 19 回全日本ジュニアスカッシュ選手権大会 (冠は予定)
日程：平成 27 年 3 月下旬
会場：未定
目的：日本のジュニア選手で年代別ジュニアチャンピオンを競う大会であり、交流と技術向上を目的とする。
対象：男女アンダー19、17、15、13、11、9 の選手で、日本国籍を有する者
参加予定人数：約 150 名
内容：トーナメント制

② 海外大会日本代表派遣(予定)

- イ) ミロ・オールスタージュニア大会<中止>
日程：5 月下旬～6 月上旬
開催地：マレーシア・ペタリンジャヤ
種目：男女アンダー19,17,15,13,11
- ロ) アジアジュニア個人選手権大会(検討中⇒中止)
日程：6 月末
開催地：イラン
種目：男女アンダー19,17,15,13
- ハ) 第 17 回アジアスカッシュ団体選手権大会
日程：6 月 11 日～15 日
開催地：香港
種目：団体戦
- ニ) 香港ジュニアオープン
日程：7 月 29 日～8 月 2 日
開催地：香港
種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9
- ホ) アジア競技大会 (JOC 派遣)
日程：9 月 20 日～27 日
開催地：韓国・仁川
種目：男子・女子 各団体戦及び個人戦
- へ) 女子世界団体スカッシュ選手権大会
日程：12 月 1 日～6 日
開催地：カナダ・ナイアガラ
種目：女子団体戦
- ト) アジアジュニアスカッシュ団体選手権

日程：2015年2月～3月初旬

開催地：未定

海外派遣承認大会（予定）

イ) ペナンジュニアオープン

日程：6月7日～12日

開催地：マレーシア ペナン

種目：男女アンダー19,17,15,13,11

ロ) 2014 世界大学選手権

日程：9月1日～7日

開催地：インド、チェンナイ

種目：個人戦

ハ) ブリティッシュジュニアオープン

日程：平成27年1月上旬

開催地：イギリス

種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

ニ) スコティッシュジュニアオープン

日程：平成27年1月上旬

開催地：スコットランド

種目：男女アンダー19,17,15,13,11,9

③ 国際大会の日本開催に向けての資金及び情報の収集

目的：東アジアスカッシュ選手権大会等、海外選手と対戦する機会を作る事により日本選手の技術の向上を図る。又、国際大会を開催する事により間近で海外トップ選手のプレイを観戦する機会を作り、より多くの人々にスカッシュへの関心を高めてもらい一層の普及を図る。

計画：2020年東京オリンピック競技入りアピールを含めて、第9回東アジアスカッシュ選手権大会の日本開催を実施予定。

(4) その他本会の目的を達成する為に必要な振興事業

① アジア競技大会に向けてのロビー活動及び選手強化活動

目的：2014年のアジア競技大会では、より多くの日本人選手が出場できるように努力し、メダル獲得に向けて選手強化を一層充実させる。

対象：男女ナショナルチーム

種目：男女シングル戦、団体戦

内容：選手強化の為に合宿を集中して行う。

② オリンピック競技大会での正式競技入り実現の為に推進活動

目的：スカッシュの普及発展の為に、WSF（世界スカッシュ連盟）との連携により、IOC（国際オリンピック委員会）並びに開催国スカッシュ協会への2020年及び2024年オリンピック競技入り要請運動を展開する。

内容：WSFとの協力により、引き続き2020年東京オリンピックへの競技入りをアピールすると共に、2024年の競技入りに向けての活動を続ける。

③ ドーピング検査及びドーピング防止啓蒙活動

＜平成26年スポーツ振興くじ助成申請＞

内容：(公財)日本ドーピング機構に加盟して、競技会検査及びドーピング防止の為の啓蒙活動を積極的に行う。大会会場にて展示説明コーナーを設置。

④ 会員募集事業と公認事業制度の運用

内容：*個人会員登録及び協会公認・承認大会への参加は(株)アプロード運用の「スポーツエントリー」を利用して利便性を図る。但し、平成23年度より大会参加に関しての「スポーツエントリー」の利用は、主催者の判断に委ねている。

*世界スカッシュ連盟(WSF)の規格に基づいて、コート及びボールの公認を行いスカッシュ競技の安全性や統一を図る。

*公認大会の運用(要項、ドロー、結果の確認及び公認)やランキング等の発表を行い、公認大会の全国統一とレベルアップを図る。

平成26年度より、試験的にジュニアランキングも施行する。

⑤ 世界スカッシュ連盟、アジアスカッシュ連盟、東アジアスカッシュ連盟、各国協会、男女国際プレーヤーズ協会等海外との連絡調整

目的：海外対策委員会を中心に海外の情報収集及び国内情報の発信及び海外との協力体制で積極的な活動を行う。

⑥ 全日本学生連盟との連携、強化

目的：前年度に続いて学生連盟の所属選手も個人登録とし、協会機関誌を個別に発送する事により情報を一層密に伝達する。又、大会等における協力体制を強化する。

⑦ 「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」建設に向けた資金及び情報の収集

目的：スカッシュ人口増大の為には、協会保有のスカッシュコートを建設しての普及活動が不可欠。又、集中的な選手強化の為にもスカッシュコートを含むトレーニングセンターの建設が必要。国や自治体の協力を得て「(公社)日本スカッシュ協会ナショナルトレーニングセンター(仮称)」の建設を目指し、資金と情報の収集に努力する。

計画：新国立競技場は規模縮小の為大変厳しい状況ではあるが、引き続き周辺施設、他施設へのスカッシュコート設置を働きかける努力をする。

⑧ 公益法人としての活動の強化

目的：公益社団法人としての適正な活動を行い、スカッシュの一層の普及振興に努力する。

収支予算書

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用利益	20,000	160,000	-140,000
基本財産受取利息	20,000	160,000	-140,000
正会員受取会費	14,380,450	16,576,600	-2,196,150
正会員個人受取会費	442,800	430,500	12,300
補助員受取会費	7,772,650	9,782,850	-2,010,200
個別選手法員地区員	466,800	657,900	-191,100
個別選手法員地区員	4,399,600	4,335,500	64,100
個別選手法員地区員	594,750	415,350	179,400
個別選手法員地区員	648,600	792,000	-143,400
個別選手法員地区員	14,400	16,500	-2,100
単学発連会費	352,500	380,600	-28,100
賛助会費	1,296,000	3,185,000	-1,889,000
賛助会費	3,390,000	3,539,000	-149,000
団体会費	2,000,000	2,342,000	-342,000
標準クラブ子供会	979,600	735,000	244,600
加公コ大ボコレ	410,400	462,000	-51,600
加公コ大ボコレ	640,000	642,500	-2,500
加公コ大ボコレ	2,135,000	2,181,750	-46,750
加公コ大ボコレ	108,000	52,500	55,500
加公コ大ボコレ	1,540,000	1,533,000	7,000
加公コ大ボコレ	162,000	157,500	4,500
加公コ大ボコレ	125,000	180,000	-55,000
加公コ大ボコレ	200,000	258,750	-58,750
加公コ大ボコレ	20,311,920	19,200,309	1,111,611
加公コ大ボコレ	6,701,920	8,419,800	-1,717,880
加公コ大ボコレ	5,310,000	3,821,000	1,489,000
加公コ大ボコレ	3,000,000	1,979,509	1,020,491
加公コ大ボコレ	4,500,000	3,580,000	920,000
加公コ大ボコレ	800,000	1,400,000	-600,000
加公コ大ボコレ	600,000	1,000,000	-400,000
加公コ大ボコレ	200,000	400,000	-200,000
加公コ大ボコレ	13,480,000	6,943,322	6,536,678
加公コ大ボコレ	2,700,000	1,500,000	1,200,000
加公コ大ボコレ	2,700,000	1,500,000	1,200,000
加公コ大ボコレ	10,780,000	5,443,322	5,336,678
加公コ大ボコレ	1,422,000	1,722,322	-300,322
加公コ大ボコレ	9,358,000	3,721,000	5,637,000
加公コ大ボコレ	2,472,000	500,000	1,972,000
加公コ大ボコレ	2,472,000	500,000	1,972,000
加公コ大ボコレ	472,000	500,000	-28,000
加公コ大ボコレ	2,000,000	0	2,000,000
加公コ大ボコレ	5,506	5,000	506
加公コ大ボコレ	5,506	5,000	506
加公コ大ボコレ	50,669,876	43,385,231	7,284,645
(2) 経常費用			
事務費	35,932,876	28,826,731	7,106,145
事務費	1,766,600	1,975,440	-208,840
事務費	4,186,165	2,933,420	1,252,745
事務費	873,750	1,178,442	-304,692
事務費	458,331	539,165	-80,834
事務費	63,800	63,800	0
事務費	1,835,958	1,795,800	40,158
事務費	985,522	1,111,850	-126,328
事務費	142,375	908,740	-766,365
事務費	956,543	1,336,237	-379,694
事務費	2,902,420	5,587,460	-2,685,040
事務費	6,352,000	1,862,000	4,490,000
事務費	27,500	0	27,500
事務費	3,397,440	2,014,050	1,383,390
事務費	1,939,040	20,000	1,919,040
事務費	1,236,616	0	1,236,616
事務費	0	7,907	-7,907
事務費	5,206,256	525,572	4,680,684
事務費	270,000	0	270,000
事務費	1,332,560	2,466,848	-1,134,288
事務費	1,000,000	2,000,000	-1,000,000
事務費	1,000,000	2,000,000	-1,000,000
事務費	1,000,000	2,500,000	-1,500,000
事務費	800,000	1,000,000	-200,000
事務費	200,000	1,500,000	-1,300,000
事務費	14,437,000	14,258,500	178,500
事務費	8,400,000	7,750,000	650,000
事務費	8,400,000	7,750,000	650,000
事務費	500,000	500,000	0
事務費	662,000	500,000	162,000
事務費	50,000	50,000	0
事務費	40,000	40,000	0
事務費	200,000	200,000	0
事務費	252,000	90,000	162,000

振	の	料	20,000	20,000	0
会	の	他	100,000	100,000	0
消	儀	費	50,000	50,000	0
備	器	費	680,000	550,000	130,000
消	品	費	550,000	420,000	130,000
そ	の	他	112,000	112,000	0
印	製	費	18,000	18,000	0
光	水	費	100,000	100,000	0
貢	借	料	220,000	200,000	20,000
社	保	料	1,320,000	1,430,000	-110,000
中	業	險	1,000,000	1,500,000	-500,000
租	退	金	880,000	1,250,000	-370,000
負	職	共	120,000	250,000	-130,000
世	公	課	0	73,500	-73,500
ア	支	出	455,000	455,000	0
日	(W S F)		180,000	180,000	0
本	(A S F)		75,000	75,000	0
日	員 会 (J O C)		50,000	50,000	0
本	ド ー ピ ン グ 機 構		50,000	50,000	0
公	の	他	100,000	100,000	0
登	士 他 費 用		200,000	200,000	0
雑	関 連 費 用		350,000	350,000	0
費	費		200,000	200,000	0
用			300,000	400,000	-100,000
計			50,369,876	43,085,231	7,284,645
評			300,000	300,000	0
價			0	0	0
損			300,000	300,000	0
益					
等					
調					
整					
前					
当					
期					
經					
常					
增					
減					
額					
2. 經					
常					
外					
增					
減					
の					
部					
(1) 經					
常					
外					
收					
益					
計					
(2) 經					
常					
外					
費					
用					
計					
當					
期					
經					
常					
外					
增					
減					
額					
當					
期					
一					
般					
正					
味					
財					
產					
增					
減					
額					
一					
般					
正					
味					
財					
產					
期					
首					
殘					
高					
一					
般					
正					
味					
財					
產					
期					
末					
殘					
高					
II 指					
定					
正					
味					
財					
產					
增					
減					
の					
部					
當					
期					
指					
定					
正					
味					
財					
產					
增					
減					
額					
指					
定					
正					
味					
財					
產					
期					
首					
殘					
高					
指					
定					
正					
味					
財					
產					
期					
末					
殘					
高					
III 正					
味					
財					
產					
期					
末					
殘					
高					

収支予算書内訳表

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	(単位: 円)			合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用利益	0	0	20,000	20,000
基本財産受取利息	0	0	20,000	20,000
受取会費	7,190,225	0	7,190,225	14,380,450
正賛助会費	221,400	0	221,400	442,800
賛助会費	3,886,325	0	3,886,325	7,772,650
加公事業	1,695,000	0	1,695,000	3,390,000
事業	320,000	0	320,000	640,000
事業	1,067,500	0	1,067,500	2,135,000
参加費	20,311,920	0	20,311,920	20,311,920
参加費	6,701,920	0	6,701,920	6,701,920
参加費	5,310,000	0	5,310,000	5,310,000
参加費	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000
参加費	4,500,000	0	4,500,000	4,500,000
参加費	800,000	0	800,000	800,000
参加費	13,480,000	0	13,480,000	13,480,000
参加費	2,700,000	0	2,700,000	2,700,000
参加費	10,780,000	0	10,780,000	10,780,000
参加費	2,472,000	0	2,472,000	2,472,000
参加費	2,472,000	0	2,472,000	2,472,000
参加費	0	0	5,506	5,506
参加費	0	0	5,506	5,506
経常収益計	43,454,145	0	7,215,731	50,669,876
(2) 経常費用				
事業	35,932,876	0	0	35,932,876
事業	1,766,600	0	0	1,766,600
事業	4,186,165	0	0	4,186,165
事業	873,750	0	0	873,750
事業	458,331	0	0	458,331
事業	63,800	0	0	63,800
事業	1,835,958	0	0	1,835,958
事業	985,522	0	0	985,522
事業	142,375	0	0	142,375
事業	956,543	0	0	956,543
事業	2,902,420	0	0	2,902,420
事業	6,352,000	0	0	6,352,000
事業	27,500	0	0	27,500
事業	3,397,440	0	0	3,397,440
事業	1,939,040	0	0	1,939,040
事業	1,236,616	0	0	1,236,616
事業	5,206,256	0	0	5,206,256
事業	270,000	0	0	270,000
事業	1,332,560	0	0	1,332,560
事業	1,000,000	0	0	1,000,000
事業	1,000,000	0	0	1,000,000
事業	10,570,600	0	3,866,400	14,437,000
事業	6,720,000	0	1,680,000	8,400,000
事業	400,000	0	100,000	500,000
事業	529,600	0	132,400	662,000
事業	25,000	0	25,000	50,000
事業	544,000	0	136,000	680,000
事業	80,000	0	20,000	100,000
事業	176,000	0	44,000	220,000
事業	1,056,000	0	264,000	1,320,000
事業	800,000	0	200,000	1,000,000
事業	0	0	455,000	455,000
事業	0	0	200,000	200,000
事業	0	0	350,000	350,000
事業	0	0	200,000	200,000
事業	240,000	0	60,000	300,000
経常費用計	46,503,476	0	3,866,400	50,369,876
評価損益等調整前当期経常増減額	-3,049,331	0	3,349,331	300,000
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	-3,049,331	0	3,349,331	300,000
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	-3,049,331	0	3,349,331	300,000
一般正味財産期首残高	0	0	0	0
一般正味財産期末残高	-3,049,331	0	3,349,331	300,000
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
III 正味財産期末残高	-3,049,331	0	3,349,331	300,000

収支予算書内訳表(収支)

平成26年 4月 1日から平成27年 3月31日まで

(単位: 円)

科 目	(単位: 円)			合 計
	公益目的事業	収益事業	法人会計	
I 事業活動収支の部				
1. 事業活動収入				
基本財産運用収入	0	0	20,000	20,000
基本財産利息収入	0	0	20,000	20,000
会費収入	7,190,225	0	7,190,225	14,380,450
正会員会費収入	221,400	0	221,400	442,800
賛助会員個人会費収入	3,886,325	0	3,886,325	7,772,650
賛助会員団体加盟料	1,695,000	0	1,695,000	3,390,000
公益事業収入	320,000	0	320,000	640,000
事業参加費収入	1,067,500	0	1,067,500	2,135,000
参加費収入	20,311,920	0	0	20,311,920
広告費収入	6,701,920	0	0	6,701,920
委託の成収	5,310,000	0	0	5,310,000
雑収入	3,000,000	0	0	3,000,000
補助金収入	4,500,000	0	0	4,500,000
補助金等収入	800,000	0	0	800,000
補助金等収入	13,480,000	0	0	13,480,000
補助金等収入	2,700,000	0	0	2,700,000
寄附金収入	10,780,000	0	0	10,780,000
雑収入	2,472,000	0	0	2,472,000
雑収入	2,472,000	0	0	2,472,000
事業活動収入計	43,454,145	0	5,506	50,669,876
2. 事業活動支出			7,215,731	50,669,876
事業活動支出	35,932,876	0	0	35,932,876
コピー	1,766,600	0	0	1,766,600
トフ	4,186,165	0	0	4,186,165
フレ	873,750	0	0	873,750
イト	458,331	0	0	458,331
メダ	63,800	0	0	63,800
一ト賞ル代費	1,835,958	0	0	1,835,958
賞	985,522	0	0	985,522
代	142,375	0	0	142,375
費	956,543	0	0	956,543
費	2,902,420	0	0	2,902,420
費	6,352,000	0	0	6,352,000
費	27,500	0	0	27,500
金	3,397,440	0	0	3,397,440
料	1,939,040	0	0	1,939,040
費	1,236,616	0	0	1,236,616
費	5,206,256	0	0	5,206,256
費	270,000	0	0	270,000
他	1,332,560	0	0	1,332,560
出	1,000,000	0	0	1,000,000
出	1,000,000	0	0	1,000,000
出	10,570,600	0	3,866,400	14,437,000
費	6,720,000	0	1,680,000	8,400,000
与	400,000	0	100,000	500,000
費	529,600	0	132,400	662,000
費	25,000	0	25,000	50,000
費	544,000	0	136,000	680,000
費	80,000	0	20,000	100,000
費	176,000	0	44,000	220,000
費	1,056,000	0	264,000	1,320,000
料	800,000	0	200,000	1,000,000
出	0	0	455,000	455,000
用	0	0	200,000	200,000
用	0	0	350,000	350,000
用	0	0	200,000	200,000
費	240,000	0	60,000	300,000
事業活動支出計	46,503,476	0	3,866,400	50,369,876
事業活動収支差額	-3,049,331	0	3,349,331	300,000
II 投資活動収支の部				
1. 投資活動収入				
投資活動収入計	0	0	0	0
2. 投資活動支出				
特定預金支出	300,000	0	0	300,000
大会開催引当預金支出	200,000	0	0	200,000
トレセン建設引当預金支出	100,000	0	0	100,000
投資活動支出計	300,000	0	0	300,000
投資活動収支差額	-300,000	0	0	-300,000
III 財務活動収支の部				
1. 財務活動収入				
財務活動収入計	0	0	0	0
2. 財務活動支出				
財務活動支出計	0	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0	0
当期収支差額	-3,349,331	0	3,349,331	0
前期繰越収支差額	0	0	0	0
次期繰越収支差額	-3,349,331	0	3,349,331	0

平成26年・27年度公益社団法人日本スカッシュ協会役員

役職名	再新任	氏名	職業・委員会・等	任期	常勤・非常勤
理事(会長)	再任	笠原 一也	元国立スポーツ科学センター長 NPO法人 日本オリンピック・アカデミー/会長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事) (事務局長)	再任	梶田 幸子	総務委員長 (公社)日本スカッシュ協会/事務局長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	常勤
理事(常務理事)	再任	潮木 仁	選手強化委員長 株スポーツステーション・ジン/ 代表取締役社長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	宮城島 真知子	普及渉外委員長 (有)スカッシュマネジメント/代表取締役社長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	日向 孝知	規則公認委員長/広報委員長 (株)システナ/金融・基盤システム本部	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事(常務理事)	再任	大根田 芳浩	競技委員長 大根田電機(株)/代表取締役社長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	渡邊 祥広	T&Wカンパニー(株)/代表取締役	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	川原 貴	国立スポーツ科学センター長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	玉利 齊	(財)日本健康スポーツ連盟/理事長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	三枝 佳紀	セントラルスポーツ(株)/レジャー事業部長	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
理事	再任	師岡 文男	国際スポーツ団体総連合前理事/日本ワールドゲームズ協会執行理事/上智大学教授	平成26年6月30日～ 平成28年定時総会終結日	非常勤
監事	再任	友清 敏和	元持田シーメンスメディカルシステム(株)/ 取締役	平成26年6月30日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤
監事	再任	山岸 和彦	あさひ法律事務所/弁護士	平成26年6月30日～ 平成30年定時総会終結日	非常勤

現在、役員に報酬・退職金等は支給しておらず、今後も支給する予定はない。

平成26年度公益社団法人日本スカッシュ協会 名誉総裁・名誉会長・顧問

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
名誉総裁		高円宮妃殿下	
名誉会長	再任	猪谷 千春	元国際オリンピック委員会副会長/ NPO法人日本オリンピックアカデミー
顧問	再任	藤ヶ崎 訥美	元(株)三声/代表取締役社長
顧問	再任	臼井 日出男	衆議院議員/元防衛庁長官・元法務大臣
顧問	再任	岩崎 晃	元(株)日本テレビワーク24専務取締役
顧問	再任	齋藤 敏一	(株)ルネサンス 取締役会長
顧問	再任	齋藤 洋介	ワールド通商(株) 会長
顧問	再任	今関 士郎	元(財)千代田生命健康開発事業団 専務理事
顧問	再任	赤木 恭平	(財)全日本ボウリング協会 会長
顧問	再任	鈴木 恒夫	元衆議院議員/元文部科学大臣
顧問	再任	今村 正史	元コーンズドッドウェル(株) 監査役
顧問	再任	阿部 一佳	筑波大学名誉教授
顧問	新任	グレゴリー・クラーク	多摩大学名誉学長
顧問	新任	小見山 幸治	参議院議員

平成26年度公益社団法人日本スカッシュ協会 運営委員

役 職	再新任	氏 名	職業・地区等
運営委員	再任	足立 美由紀	会長推薦
運営委員	再任	吉田 尚弘	九州支部
運営委員	再任	柴田 亮介	東北支部
運営委員	再任	芦谷 誠治	中国四国支部
運営委員	再任	上野 修司	関西支部
運営委員	再任	國井 正道	中部支部
運営委員	再任	土田 博史	千葉県支部
運営委員	再任	丹埜 倫	会長推薦
運営委員	新任	小林 史隆	全日本学生連盟委員長
運営委員	新任	小幡 博	北海道支部

平成26年度正会員名簿

26年度(35名)

氏名
小幡 博
鈴木 康之
柴田 亮介
熊田 康宏
大根田 芳浩
笠原 一也
潮木 仁
濱野 昭彦
日向 孝知
古川 泰久
小林 史隆
梶田 幸子
土田 博史
田中 新吾
丹埜 倫
宮城島 眞知子
渡邊 祥広
高橋 徹

氏名
町田 信行
岡田 真弥
井上 雅子
國井 正道
松岡 克夫
竹内 敬二
上野 修司
足立 美由紀
大森 紀人
高木 あきみ
西村 元希
杉本 和子
磯部 拓治
武本 清孝
芦谷 誠治
吉田 尚弘
喜渡 正

平成26年度委員会・大会担当者（予定）

<委員会>

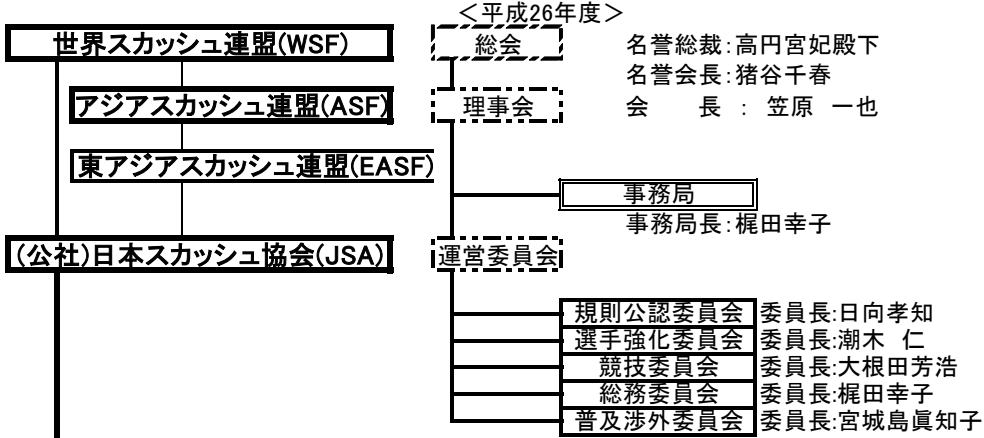
- 1) 規則公認委員会 委員長／日向
 <海外> 委員長／丹埜 委員／足立友清 大島 神谷
 <公認> 委員長／日向
- 2) 選手強化委員会 委員長／潮木
 委員／山崎（シニア委員長）佐野（ジュニア委員長）足立 土田 小川
 <ナショナル強化プロジェクト> ナショナルコーチ/佐野
 アシスタントコーチ/山崎（シニア担当）足立（ジュニア担当）
 強化スタッフ/土田 小川 松本 サポートスタッフ/郡司 芦谷横田 前川
 <コーチ> 委員長／土田 委員／足立 潮木 佐野
 <学連> 委員長／小林
 <医療サポート> 委員長／酒井 委員／川原 浅野(雅)、浅野(千)、森田
- 3) 競技委員会 委員長／大根田
 <大会管理> 委員長／潮木 委員／河原 日端
 <レフリー> 委員長／大根田 委員／足立 潮木 土田 日向小幡 柴田 千葉 浅野 小川小島 矢野 吉田
 <マスターズ> 委員長／小幡 委員／齋藤
- 4) 総務委員会 委員長／梶田
 <地区対策> 委員長／委員／全国地区支部委員
 <広報> 委員長／日向委員／宮城島 川原
 <財務> 委員長／友清委員／梶田 吉羽 神谷
- 5) 普及渉外委員会 委員長／宮城島委員／潮木梶田 日向 大根田
 <環境対策> J S Aエコプロジェクト 委員長/宮城島

<大会・イベント>

- A) 東アジアスカッシュ選手権 実行委員長/渡邊 副実行委員長/足立 委員/潮木佐野 宮城島日向 大根田梶田 神谷 他
- B) 全日本アンダー23実行委員長／潮木 副実行委員長／松原（学連）
- C) 全日本ジュニア 実行委員長／小川 副実行委員長／土田 松原(学連) 島田 委員／足立宮城島 佐野ジュニア委員
- D) マスターズカーニバル 実行委員長／小幡 委員/齋藤
- E) 全日本選手権 実行委員長／宮城島 副実行委員長/大根田 潮木 委員／日向梶田 小川 河原 青柳 吉羽他
- E) ジャパンジュニアオープン 実行委員長／佐野 副実行委員長／足立 小川 松（学連） 島田 委員／土田 宮城島 ジュニア委員神谷
- F) スカッシュデー・スカッシュウィーク 実行委員長／宮城島 委員／全国地区支部員

<事務局> 事務局長／梶田 事務局員／吉羽 神谷

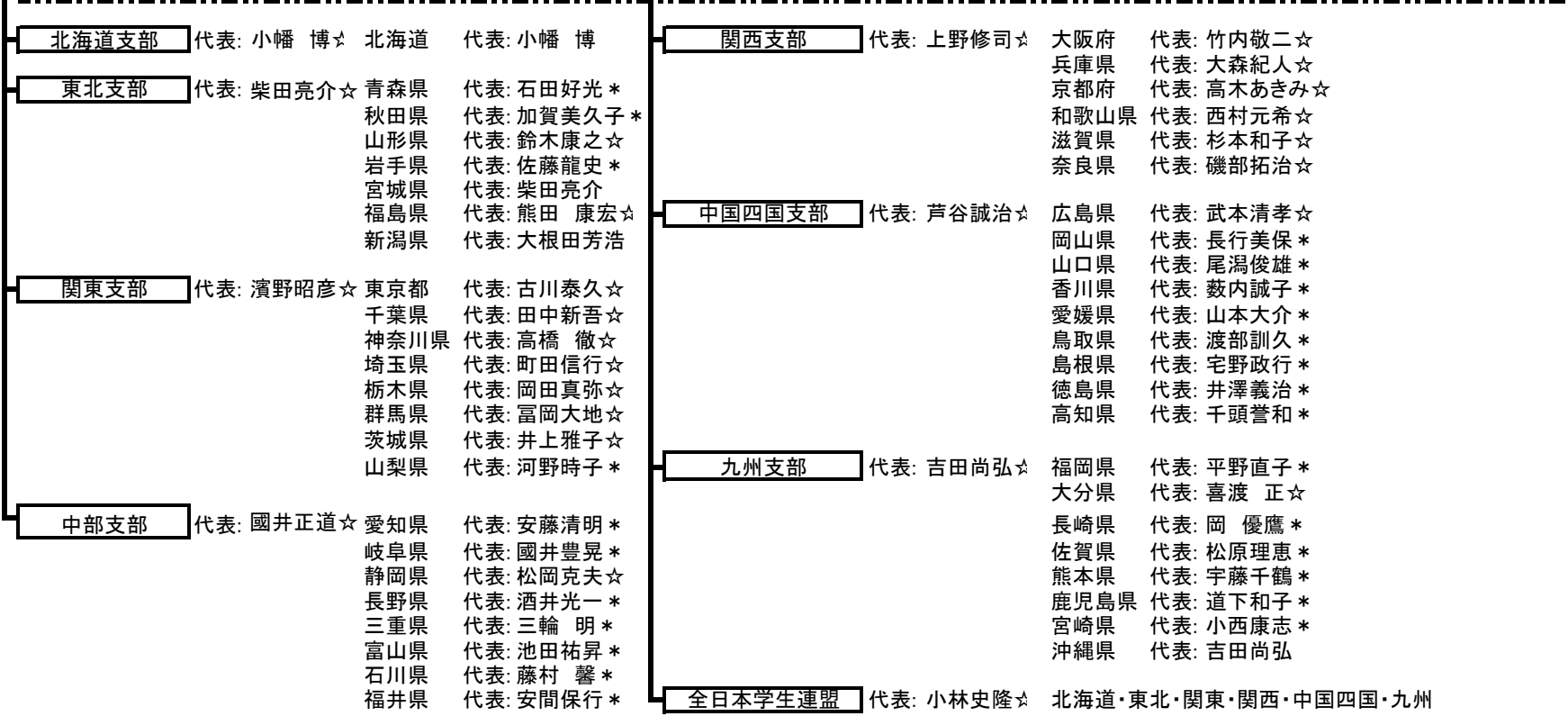
公益社団法人日本スカッシュ協会組織図



TEL:03-5256-0024 http://www.squash-japan.org
 FAX:03-5256-0025 E-mail:squash@japan.email.ne.jp

- 代表理事: 笠原 一也☆ 顧問(アドバイザー)
- 臼井日出男 赤木恭平
 - 岩崎 晃 鈴木恒夫
 - 齋藤敏一 阿部一佳
 - 齋藤洋介 藤ヶ崎 美
 - 今関士郎 グレゴリー・クラーク
 - 今村正史 小見山幸治
- 常務理事: 潮木 仁☆ 梶田幸子☆ 宮城島真智子☆ 日向孝知☆ 大根田芳浩☆
- 理事: 川原 貴 玉利 齊 三枝 佳紀 師岡 文雄 渡邊 祥広 ☆
- 監事: 友清敏和 山岸和彦
- 運営委員:
- 足立美由紀☆
 - 吉田尚弘☆
 - 柴田亮介☆
 - 芦谷誠治☆
 - 國井正道☆
 - 土田博史☆
 - 小林史隆☆
 - 丹楚 倫☆
 - 小幡 博☆
 - 上野修司☆

☆正会員 *普及会員



「国と特に密接な関係がある」公益法人への該当性について（公表）

平成 26 年 6 月 29 日

公益社団法人日本スカッシュ協会

当法人は、国家公務員法等の規定に関し、国家公務員であった者が法人の役員として再就職する場合に、事前に政府に届出をおこなうことが必要な「国と特に密接な関係がある法人」に該当しませんので、その旨公表いたします。

[本件連絡先]

電 話

03-5256-0024

FAX

03-5256-0025

電子メール

squash@japan.email.ne.jp

（参考）国家公務員法等の規定

- ・ 国家公務員法（昭和 22 年法律第 120 号）第 106 条の 24 第 1 項第 4 号
- ・ 独立行政法人通則法（平成 11 年法律第 103 号）第 54 条の 2 第 1 項において準用する国家公務員法第 106 条の 24 第 1 項第 4 号
- ・ 職員の退職管理に関する政令（平成 20 年政令第 389 号）第 32 条
- ・ 特定独立行政法人の役員の退職管理に関する政令（平成 20 年政令第 390 号）第 18 条
- ・ 職員の退職管理に関する内閣官房令（平成 20 年内閣府令第 83 号）第 9 条
- ・ 特定独立行政法人の役員の退職管理に関する内閣官房令(平成 20 年内閣府令第 84 号)第 8 条